

単元名 住田で活躍する〇〇さんの願いや工夫についてインタビューしよう！

単元の目標

- 調査活動を通して、年代や職種によって、住田町で活動する人々の願いや住田町を活性化させるための工夫が異なることなどに気づき、それらをインタビュー用紙にまとめることができる。【社会参画に関する資質能力】
- インタビューに向けて役割を分担し、それぞれの役割を果そうと行動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 話し合い活動を通して、住田で活躍する人の活動を願い・工夫といった観点から整理し、取り組みの経過をまとめることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・追跡プロジェクトを通して、「～さんは～思いで、～を取り組んでいた。僕の父さんも～って言うていたな。」「将来～になるためには～さんのような実践を～していく必要があるな」といった実践した方々の思いや願いを学び、その周りの人々の反応、その分野に関する過去と今、未来はどうなっていくかなどを考えることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・追跡プロジェクトを通して、「この人を追跡することでどんなことを学べるか」「誰に聞いてみればさらに詳しく分かるか」といった、活動実現に向けての行動を起こそうとしている。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・
	2 ☆協働する力	【☆協】	・クラスの発表会を通して、「～のことはわかったけど、～を知るには～方法のほうが良いと思う」や「～ことは初めて知った。もっと掘り下げて調べてみれば面白いと思う」といった意見の交流が出来る。
	3 ★他者受容	【★受】	・
D 自律的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・追跡プロジェクトを通して、自分達が取り組んでいる活動が、「何のために」「誰のために」「何を」「これからどうなっていくのか」「自分たちができることは何か」「地域の方々はどう思っているのか」といった複数の観点から整理し、活動の実現までの過程をまとめている。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・

単元名 プロジェクトに取り組んでみて…

単元の目標

- 報告会や「まとめレポート」の作成を通して、今年度の取り組みの成果や課題を報告する。【社会参画に関する資質能力】
- 話し合い活動や報告会などを通して、話し手が成果を発信したり、聞き手が質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行う。【人間関係形成に関する資質能力】
- 報告会や振り返りを通して、達成感を味わったり、次年度に向けての意欲を高めようとしていたりしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準		
A ◎地域理解		【地理】	・「まとめ」「振り返り」を通して、①「住田の森林は、資源の循環を意識し生産されている。その素材を活用した食器を作ったので、町内外の皆さんに使って欲しい」といった成果や、②「活動を通して、住田の森林の良さに改めて気が付くことができた。大人になった時に、町外の人にもその良さを伝えていきたい」といった思い・願いを表現することができる。	
	B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・
		2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
		3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・報告会や「まとめレポート」の作成を通して、「住田の森林資源をいかした食器を作り、町内外の人に使い心地を聞くことができた」といった成果や、「よりたくさんの人に利用してもらいたい」といった課題を報告することができる。
		4 ★好奇心・探究心	【★好】	・
		5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
	C 関人関資形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動や報告会などを通して、話し手が「私たちは住田の森林資源を活かした食器を作った」といった成果を発信したり、聞き手が「産業祭りなどに提供すれば、もっとたくさんの人に広まったのでは？」と質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行うことができる。
		2 ☆協働する力	【☆協】	・
		3 ★他者受容	【★受】	・
	D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
		2 ☆創出する力	【☆創】	・
		3 ★自己肯定感	【★肯】	・報告会や振り返りを通して、「苦労をしながらも活動をやり遂げることができた」「地域の方から、がんばりを認めてもらった」といった気持ちを味わい、次年度に向けての意欲を高めようとしている。

単元名 インターナショナルプロジェクト ～対話を通して考える国際社会住田～

単元の目標

- 地域に多くの外国人が住んでいることを知り、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことの大切さについて考えることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 町の人の対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 国際社会において大切なことを感じ取り、自分の考えをよりよい形で伝えるために、創意工夫して表すことができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・住田町に暮らす外国の方たちとの交流を通じて町の国際化の状況について知り、自分の生き方との関わりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・活動を通じて感じた共通点や差異を基に現在の住田町の状況を捉え、多角的な視点を持って、より妥当な考えを見出すことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい社会づくりに向けた取組について、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、取り組むことができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人する関係資質形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・外国の方々の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D 関自律的資活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・他の人の考え等を聞きながら、自分自身の考えを深め、よりよい国際社会についての意見を持つことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことを自分の感性を發揮しながら、自発的に創意工夫して表すことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学んだことの自分にとっての意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の指導

(全 7 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
問題の把握	7	1	地域に住む外国人の	○岩手県や住田町で生活している外国人の状況を知る。 ○単元を通して考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 ○どこの国の人から話を聞きたいか希望調査する。 ○質問の内容を考える	地理	☆多		
情報収集	8	2	外国の方と	○地域に住む外国の方との交流会をもつ。 ○全体会→分科会→全体会 の流れで行う。 ○外国の方には、生徒の質問に答える形式で、自分のことや、出身国のことについてお話していただく。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受	☆感
計画しを持つ	9	1	多文化共生で社会の	○交流して感じたこと、気づいたことを元に「外国人にもやさしいまちづくり」について、グループで話し合う。 ○ビデオメッセージの撮影に向けて「どんなことを伝えたいか」というアイデアを持ちながら話し合う。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★受	☆感
実施	9	1	共生できる社会の	○前時の活動で出たアイデアを2つの中学校で交流し、自分たちの意見との違いや他の人の考えの良い点などを知る。 ○ビデオメッセージの撮影に向けてアイデアをまとめ、撮影する。(グループごと) ○多文化共生社会において大切なことや必要なことを考え、レポートにまとめる。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆創
振り返り	10	1	を向けて、	○お話を聞いたゲストティーチャーの方に向けて、ビデオメッセージを撮影する。(グループごと) ○撮影したメッセージは、ゲストティーチャーの所属会社等を通じて本人に届ける。 ○多文化共生社会において大切なことや必要なことを考え、レポートにまとめる。 【伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆創 ★肯

単元名 住田にはどのような人がいるのだろうか…??

単元の目標

- 調査活動を通して、住田町で活躍している人の願いや住田町を活性化させるための工夫について気づき、それらを模造紙等にまとめることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 調査活動を通して学んだことをクラスメイトに発表したりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
- 身近なところにも地域のために貢献している人がいることに気づき、調査活動で取り上げた以外の人物にも目を向けようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準
A ◎地域理解		【地理】 ・小学校から学んできた「気仙川」「森林」といった住田の歴史、文化、資源の良さや地域の課題の他に、それに携わる地域の人の「活動」や「実践」を通してその人の思いを感じることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】 ・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「地域で活躍している人から思いや考え、実践を学び、住田の魅力を再発見し、地域の人と一緒に未来を考える学習活動」であるという目的を確認する。1年の見通しを持つことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】 ・調査活動を通して、「森林日本一」や「気仙川」といった生徒が抱く地域の良さの中で、実際に林業に従事する人や、様々な分野で住田のために従事、実践されている方の活動を知り、新たに地域の課題や良さに気づくことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】
	4 ★好奇心・探究心	【★好】
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】 ・調査活動で調べた「実践」の内容を6W1Hで紙面にまとめたり、発表したりするなどして、クラスメイトに伝えようとしている。
	2 ☆協働する力	【☆協】
	3 ★他者受容	【★受】 ・調査活動を通して、「昔は住田の林業は～ことが課題だったんだ、だから～さんは～をしたんだな」といった、住田のために実践してきた人の考えや実践を受け止めることができる。
D 関自律的資質能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】 ・調査活動を通して、「今後計画する学習活動は、自分だけではなく、自分達とは違う立場・世代の人と一緒に地域の未来を考えていく必要がある」といった気持ちが芽生えようとしている。 ・調査活動を通して、「住田町には資源を活かす人、地域のために様々な活動している人が多い。自分には何が出来るだろうか」といった気持ちが芽生えようとしている。
	2 ☆創出する力	【☆創】
	3 ★自己肯定感	【★肯】

単元名 ○○さんのインタビューに向けた計画を立てよう！

単元の目標

- グループ毎の話し合い活動を通して、住田で活躍する人をインタビューするために必要な計画を立て、プラン発表会で提案することができる。【社会参画に関する資質能力】
- プロジェクトメンバーとの話し合い活動を通して地域の方に伝わるように資料を作成したり、プロジェクトプラン発表会で地域の方からアドバイスを踏まえ計画の修正を図ろうとしたりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
- プロジェクトプラン発表会を通して、自身の携わる活動の良さや課題を知り、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・話し合い活動を通して、「過去は～～で、～～実践をしていたけど、現在は～～だから～～未来は～～だとよりよくなると思う」という住田の過去と現在、未来を結び付け、その過程で地域の方がどんな活動をしてきたか、どう活動していくのが良いかなどを考え、町のリソースや地域の方の活動をもっと知りたいという気持ちを持つことができる。 ・話し合い活動や中間発表を通して、情報を更に収集し、地域のリソースに対する知識をさらに深めることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・話し合い活動を通して、「～～さんを調査することで、何を学び、何を考えることができるか」、「いつまでに、何をやるか」、「役割分担をどうするか」といったプロジェクト実現までの見通しを具体化することができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・話し合い活動を通して、「この人は～～な実践をしていたけど、私は～～思うから～～人の考えをもっと知りたい。」といった思いや考えをまとめ、その中から、一年間をかけて取り組みたい。追跡したいプロジェクトを選択しようとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・
C 関人す間関係資質形成力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動を通して、「この人は～～だから追跡プロジェクトは難しいと思う」「今まで学んできたすみだの森林のことを更に学習していけるのは～～さんだからこの人を追跡したい」といったアイデアを学級で提案しようとしている。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・
	3 ★他者受容	【★受】	・話し合い活動を通して、「～～さんではないけど、同じ作業や仕事をしている方を知っている。その人を追跡すると地域の未来を考えるきっかけとなるのでは？」といった視点を得ることが出来る。 ・プラン発表会での地域の方々からの助言を通して、自分たちでは気づかなかった視点を得ることが出来る。
D 関自律的活動能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・
	2 ☆創出する力	【☆創】	・話し合い活動を通して、「普段見慣れている住田の木は、東京に無いため、住田の魅力になるのではないかな…」といった、リソースを見つける視点を得ることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・プラン発表会を通して、「次回から、実際に追跡プロジェクトに入れそうだ！」地域の方々から「～～の考えが良い。」と認められたなどといった達成感を味わい、プロジェクト実現に向けて意欲を高めている。

